



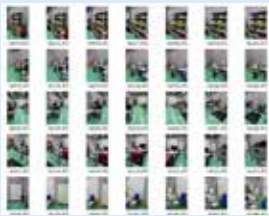
写真を用いたVRとARの同時実装

- “写真”を共通材料としてVR空間とARマーカを同時に作成可能
- 現実空間の観測者と遠隔地のVR体験者が、“共通のオブジェクト”を同時に視認できるようになる

キーワード：VR（仮想現実）、AR（拡張現実）、写真立体復元、特徴点抽出、デジタルツイン

【仮想空間】VR空間生成に関する既存技術

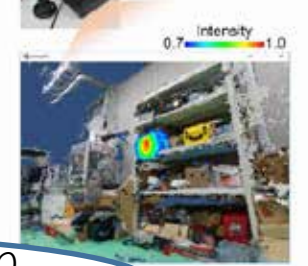
現場で撮影した
複数枚の写真



複数の写真を組み合わせて
3次元モデリング



注目箇所をVR表示
(例：放射線源)



ARマーカを別途作成したり、
設置する必要がない!!

VR空間生成に使用した写真をARマーカに利用 (提案技術)

【現実空間】AR表示に関する既存技術

写真を撮影した
注目箇所



注目箇所に
ARイメージを表示
(例：放射線源)

特徴点を抽出

→ARマーカに設定

共通イメージの
投影

現実・仮想空間の
両方で情報を共有

活用例：遠隔地の熟練者
による作業指示等

技術のステージ



実用化開発

関連業種

電気業、建設業、学術・開発研究機関、
その他の生活関連サービス業

利用分野

- ・ 原子力施設での機器・放射線情報の共有
- ・ 建設現場における危険箇所等の情報共有
- ・ 観光施設のハイブリッドツアー

知財・関連技術情報

特許第7219932号

Y. Sato, Physics Open, 7 (2021) 100070.

技術の詳細

